

読書録

小説感想イラスト本

松尾芭蕉と弟子たちの

今回読んだのはこの4冊です。

- ・田牧大和著「彩は匂へど」光文社（2016）
- ・〃 著「酔ひもせず」光文社（2015）
- ・瀬川貴次著「化け芭蕉 縁切り塚の怪」角川文庫（2014）
- ・葉室 麟 著「一蝶幻景」角川文庫（「乾山晩愁」所収）（2005）

テーマは…、



★イラストはイメージです。

みんな大好き♡

バディもの

で、まとめてみました！

作品紹介と



おまけマンガも

カロは芭蕉さんを応援しています

twitter @karo_4445

この本を手にとって下さり、ありがとうございます。

俳人の松尾芭蕉で歴史創作しているカロといいます。

芭蕉とその弟子たちの一門（蕉門といいます）、楽しいですよ！

最近では文豪もイケメン化したし次は俳人をフィーチャーしたなにかが出てきたらいいなあ…と言うことで、少しでもその魅力を伝えられたらと思い、俳人、特に松尾芭蕉周辺に関連する小説の感想をまとめました。本だけならやったらあるから！芭蕉！ありがたいことです。

◇ 2016 年刊行 田牧大和著「彩は匂へど」光文社

◇ 2015 年刊行 田牧大和著「酔ひもせず」光文社

◇ 2014 年刊行 瀬川真次著「化け芭蕉 縁切り塚の怪」角川文庫

◇ 2005 年刊行 葉室麟著「一蝶幻景」角川文庫（「乾山晩愁」所収）

この4冊はいわゆる「バディもの」です！師弟、コンビ間の友情や絆が物語とともに進展していきます。（歴史物の小説としては）エンタメ性も高いかと。あやかしや謎解きの要素をがつつり絡めたり、歴史の隙間をぬうように、あったかもしれない裏側を描いたり…と、王道歴史小説とはまた違った面白さが見どころです。（ちなみに松尾芭蕉の王道歴史小説は、生きてたらひたすら俳諧への哲学を深めていく感じです。それか死後（ほぼ冒頭で死ぬ）、周りの弟子の行動観察が描かれているかです。まあ、それが文学的業績だからネ。）

俳聖・松尾芭蕉のことなのでご存じの方も多かろうと思いますが、左ページに一応簡単な紹介などさせていただきました。すっごい雑。

長々とした前書きを最後まで読んで下さり、ありがとうございました！

この本で少しでも芭蕉や蕉門に興味を持ってもらえたら光栄です！

雑な

松尾芭蕉と弟子たちの簡単な紹介



伊賀生まれ
(三重県伊賀上野市)
庶民※出身

※無足人という華武士階級

1

29～32 才で上京
俳諧師を目指す

2

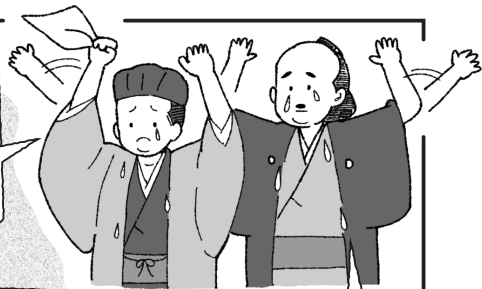
ちょーイケイケ
34 才で
俳諧の宗匠※になる
※公認プロ俳諧師

4

晩年の 10 年間に
旅に過ごす。
名作量産。
弟子増える。

3

深川に引っ越して
方向転換
ワナビーワビサビ



たからい きかく
宝井 其角

ひらめき系俳人。
江戸座というグループを
作って流行る。

つばい とこく
坪井 杜国

イケメン愛人弟子。
幼児プレイをかます。

かわい そら
河合 曾良

旅に二回同行した。
コツコツ努力して右腕
つばい立ち位置を得た。

すぎやま さんぶう
杉山 杉風

インフラ担当。
一番長い
付き合いだけど
芭蕉の
俳諧センスは
あんまりよく
分かってない。

持ります
持ります



- ◇男性同士の性愛を嗜好する表現があります。
- ◇書評というよりもキャラクターに焦点を当てた個人的感想がメインです。
- ◇あらゆる著者、出版社、歴史上の人物や作品をおとしめる意図はありません。
- ◇着物を着ているのがカバーイラストを参考にした登場人物です。
- ◇現代風の恰好をしているのが拙作のキャラクターです。こんなの↓





田牧 大和 著
光文社 2015年

理屈屋の其角と直感派の暁雲が吉原の謎に首をつつてみ、殺人事件に巻き込まれていく。

「酔ひもせず 其角と一蝶」



宝井 其角

俳諧師。芭蕉が一番と認める弟子。

一門のリーダーだけど浮いてる。根は真面目。



多賀 朝湖

絵師。吉原の幫間(場をつないだり、盛り上げたりする人)もしてる。

其角には俳号の「暁雲」で呼ばせてる。

カバーイラストが美しすぎます。
ありがとうございます。



多賀朝湖って?

芭蕉さんと同時代の人。其角との親好を通じて芭蕉さんとも交友がありました。初め狩野派に学んだものの破門され、吉原で活躍しすぎてついには流罪に。現地で画を売り生還し、^{はなぶさ}「英一蝶」と名を改め、活躍しました。



名前呼ぶの練習したと思う。かわいい。

◇暁雲を呼び捨てするたびに気後れと憧れを感じている其角。こっちが気恥かしい。



其角の 密かな 楽しみであった。

◇隙について寝めると暁雲が素で照れる顔が見れるぞ！



蕉門の
浮きかち

無神經
言動

凡人には
理解しがたい
才能

お酒
の席
で"すかす"

暁雲の宴会ヲクで
失言カバ-

豪放磊落 な711!!

逆転の発想設定!!

目からウロコ ポロポロ あつた!!

しかモ矢言を7πロ-するた=メ

というのが「かかいすまてつらい」。

◆其角は豪快な性格という公式を崩してきた！やばい！キャラ作ってんのかよ！

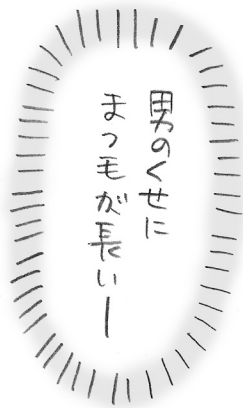
◇息抜寺◇

◇ここまでで一章と二章の前半ですが、冒頭から飛ばしやがる…。

◇其角と朧雲の会いはさらっと済ませ（もう一冊でやるっぽいので）、9才年の差のある二人の関係性をこれでもかってくらいねっちりねっちり描写していきます。とにかく其角は朧雲の横顔を見つめすぎ！あと瞳の奥の暗に引き込まれすぎ。語られない過去匂わせすぎ。

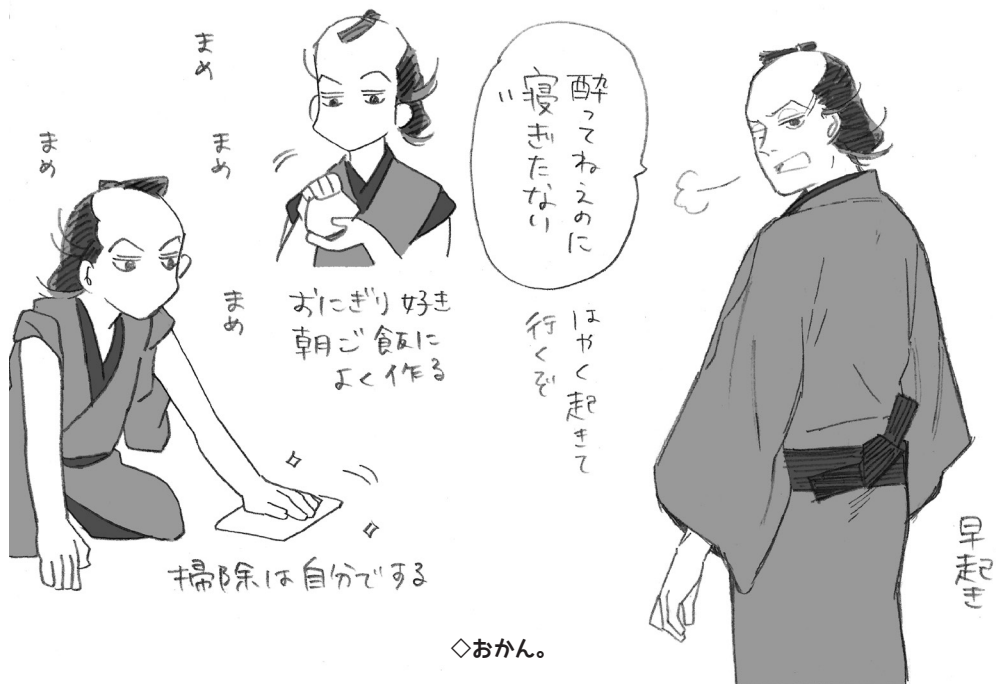
◇其角 31 才、曉雲 40 才とあるので、其角 (cv. 三木眞一郎)、曉雲 (cv. 藤原啓治) で脳内再生していました。とっても良かったです。

◇ところで！あの一！蕉門の双壁とうたわれた！其角と同時期に入門の！嵐雪は！嵐雪は登場していないようなんですが！一緒に吉原を詠んだ両吟なんかもしてるんですが…！嵐雪は睦雪とは別の交友関係という設定なんですかね。



なんだ？
モローグ

◇ 曉雲のではない。そこは曉雲のまつげであれ！





◇自分の発言で怒らせたのは分かるけど、発言のどこがダメなのかは分からない其角
なんか惜しいんだか頭良いんだか悪いんだかなんなんだか…。



◇「饅頭で人を訪ねよ山桜」という句が使われていました。



全然
（かんたんな）ツメ。



花海棠
はなかいどう
コスモス色の桜
みたいな木刺の花

◇其角の庵に花海棠と野いばらが咲いている描写があり「華やかな姿だが匂いのしない花海どう、清楚な姿で甘い香りを放つ野いばら。どちらも、其角の心をくすぐる、面白い花だ。」(p129 より引用)

◇野いばらを其角らしい花という朧雲。白い花はむしろ蕉門向きだと言い返す其角に、「見た目は清楚だが、匂いが艶っぽいじゃないか。其角が好む花だよ」(p129 より引用)

◇どんな花かピンと来なかったので画像検索して描いてみたのがあまりにアレで伝わらないんですが、相手の好みを把握してるってなんか、エロくないですか。お酒の味の好みも把握してるし…。

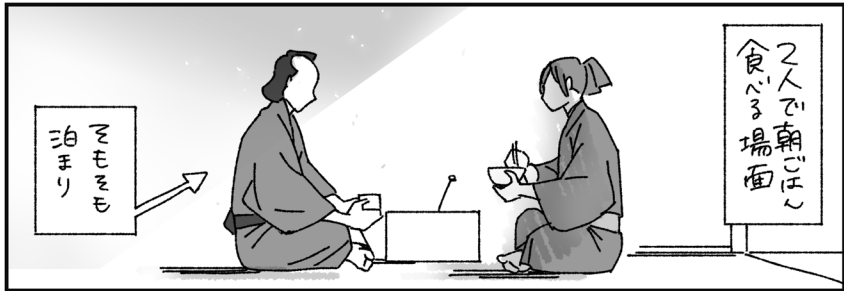
◇ちなみに野いばらの花言葉は「素朴な愛、孤独、才能、詩」だそうです。へえーへええー。

◇見た目派手な花海棠が蕉門内の其角のイメージ、見た目と反して甘い香りのする野いばらが朧雲から見た其角、みtainな記述が他のページであったと思うんだけど…他の…他の……、なかった。あれ…気のせいかな…。

◇関係ないですが花海どうを詠んでいる其角の句がありました。

海棠の夢のうつつやおぼろ月 其角（「句兄弟」十七番）

個人的にハイライトだと思ったところ



愛せいでい。

田牧さんの暁雲（一蝶）がお料理上手だったので



あんまくわしくないめで、おすしやさんだったらすいません。



田牧 大和 著
光文社 2016 年

暁雲と其角の出会いの物語。二人の師である芭蕉の庵に怪しい文が投げ込まれる。芭蕉の身を案じ、謎解きに乗り出す。

「彩は句へど 其角と一蝶」

松尾 芭蕉

俳諧宗匠。其角の師匠。人気絶頂のさなかで江戸の郊外に拠点を移す。一門の運営は主に杉風と其角に任せている。門弟にはひとしく優しい物腰で接しているが…。

杉山 杉風

魚問屋の主人。芭蕉の後援役。芭蕉を守る思いが強いあまり、他の門人や暁雲にたいして険しい態度であたることもある。

作画・雲田はるこって感じの透明感のある枯れた芭蕉さんと顔の輪郭が角張ってそうな杉風でした。



◇芭蕉庵のホームセキュリティ・杉風が発動していました。



◇怒っている杉風を見ている暁雲。



◇芭蕉さんに大事にされてる感。

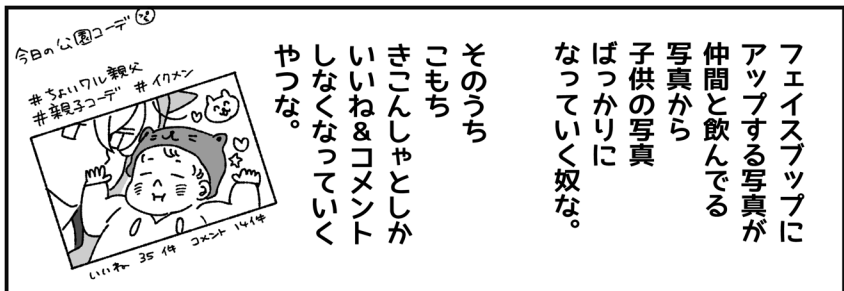


◇騙して吉原に連れて行ったり、呼び捨てにしないと情報を教えなかったり、出会って間もない其角をいじりたおす朧雲。田牧さんの功績は計り知れない。



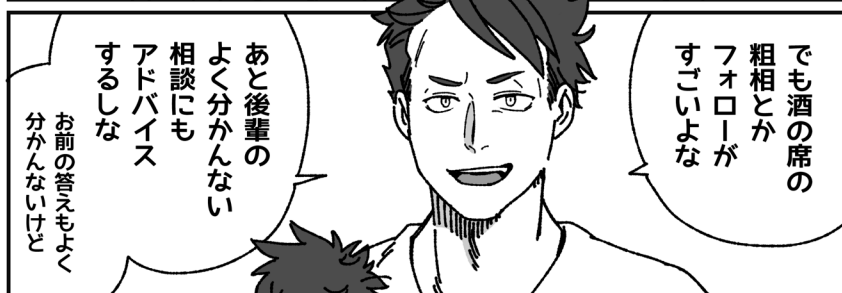
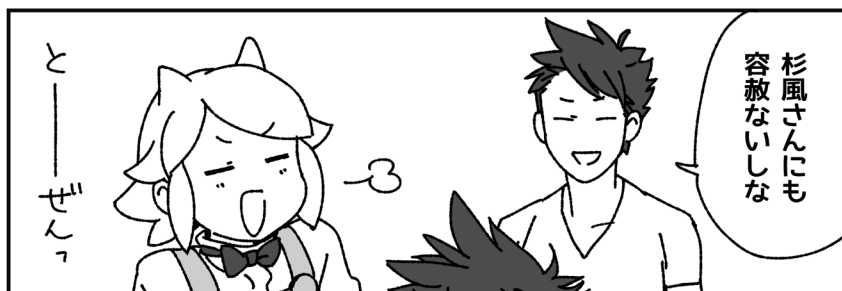
◇人を食ったような芭蕉さんもレアだけど、芭蕉さんに嫌われてるかもと考える其角はとても新鮮。田牧さんの功績は計り知れない。

田牧さんは嵐雪にノータッチだったので

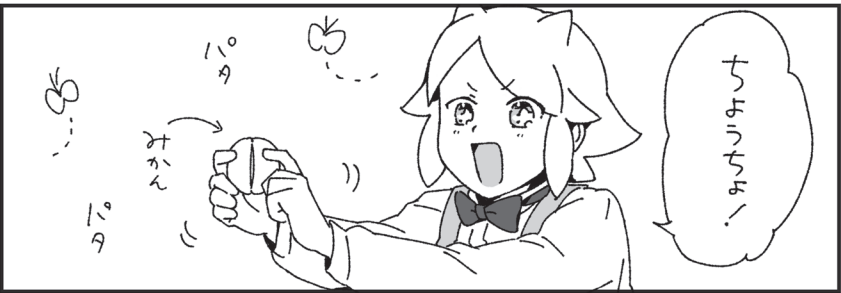
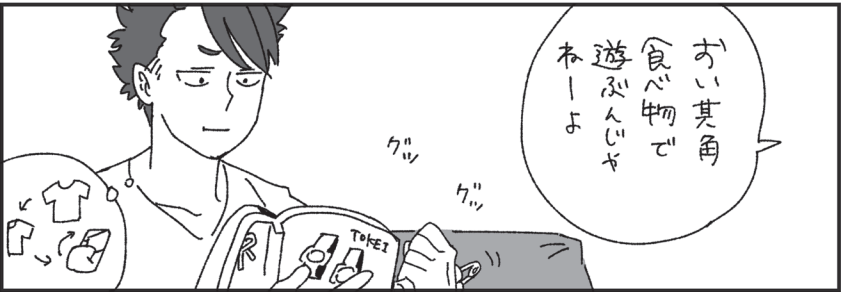


(一)顔すき

田牧さんの其角はずけずけ言っちゃうタイプだったので



おまけ





「化け芭蕉 縁切り塚の怪」

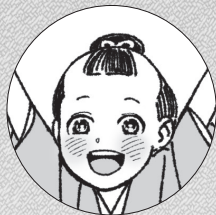
松尾 宗房

若き日の芭蕉。伊賀上野の侍屋敷に台所役として仕える。亡き主・良忠と俳諧を学んだ。敬慕する主を失いネガティブ気味。



万菊丸 (坪井 杜国)

天真爛漫な少年。愛らしい顔からは想像のつかないえぐいイビキを立てる。



河合 曾良 (惣五郎)

伊勢長島から来た若者。将来的に士分の身。全体的にチート感のある中二。宗房の初期からのファン。



瀬川 貴次 著
角川文庫 2014 年
若き日の芭蕉、宗房の前に現れた謎の老人は、かれの行く先々で怪異をけしかける。老人の正体とは？その目的は…。

- ◇カバーイラストがかわいい系です！実際に見てもらいたいくらい可愛い。そして若き日の芭蕉さんこと宗房が主人公です！小説や伝記モノのマンガでも回想でちらっとしか触れられないあの！いわば、いつもはショートケーキのイチゴ的存在の宗房が、イチゴのタルトかっていう位の主役です！全面を覆っているのです！大興奮！
- ◇物語の展開上、本来の歴史よりもすこし早く、芭蕉さんの弟子となる人物たちが登場するのですが！これは！すこしふしぎ（SF）の名を借りた年齢操作！ヒュー！なおかつ、どうしたの？ってくらいやすやすと宗房を慕いはじめます。まじ弟子ハーレム。俳諧への尊敬は見せても個人的感情は見せない難攻不落の曾良がそんなにあっさりと頬を赤らめられると、なんだかこっちが戸惑います…。

万菊丸って？

芭蕉さんの門人・坪井杜国の幼名（？）。名古屋の豪商だった杜国は、米の先物取引を罪に問われ、名古屋から追放されます。芭蕉は愛する弟子の杜国を旅に誘って関西各地を吟行し、紀行文「笈の小文」を著しました。



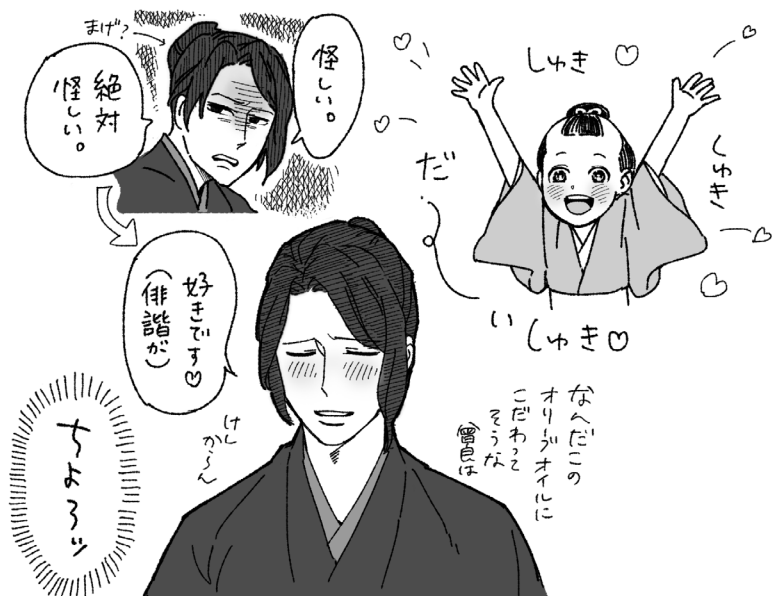
◇今際の際になって今さらすぎる後悔をする芭蕉さん。



◇その後悔が亡霊となり、若い時の自分をストーキングするという設定に…。



◇史実でも愛弟子と定評のある杜国（万菊丸）が終止全力で愛されていました。



◇万菊丸かわいい！曾良かっこいい！そしてちよろい！これは麻薬だ…。



◇すっかり宗房に懐いた万菊丸が未来のパトロン宣言。杜国が杉風より先に芭蕉さんのパトロンになるという事ですか?! これは脳内で妄想が暴れ出すぜ~~~~!!!!



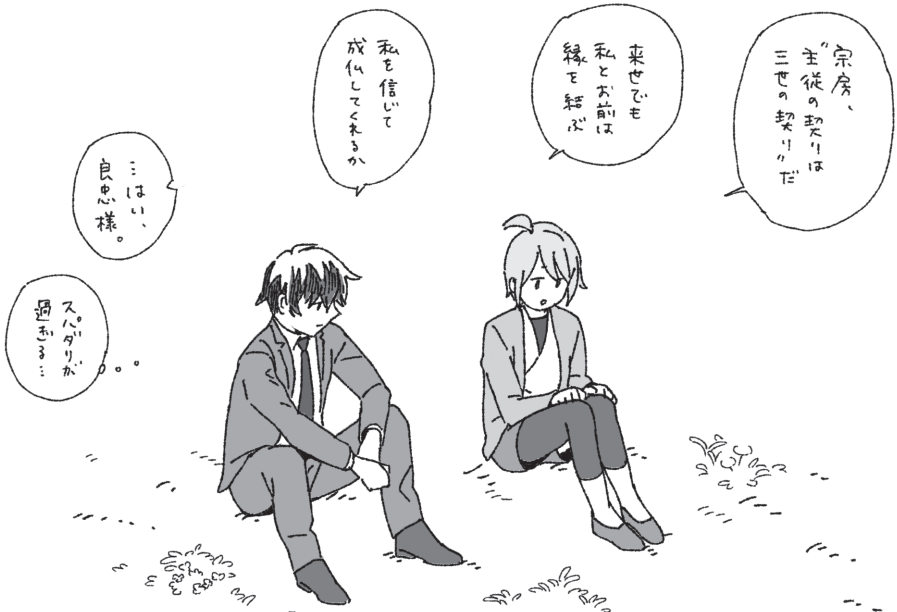
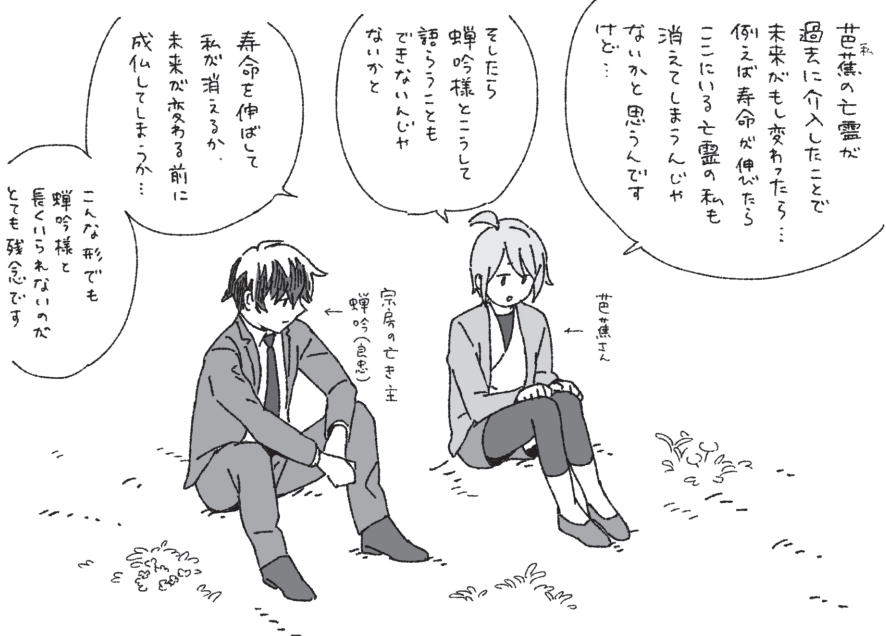
◇そうになったら杉風のメンツが立たないのでピンチだ杉風!



◇いびきがえぐい万菊丸。史実の芭蕉さんが、杜国との旅中に聞きたいびきを書き留めた「軒図」が下敷きにあるのでは！ こういう小ネタすごく嬉しいですね。



◇過去を乗り越え、志を立て仕官も決まったパーフェクト曾良に嫉妬を隠せない宗房



◇芭蕉と蝉吟があの世界で巡り会い、良い結末でした…。



葉室 麟著
角川文庫 2008 年
暁雲は放蕩仲間の誘いから、大奥の高位な女性のための密偵となる。大奥内の勢力争いに巻き込まれるように、暁雲は吉原の娼間に身を沈めていく…。

「一蝶幻景 『乾山晩愁』所収」



暁雲（朝湖）

狩野派を破門され、清々しい句の境地にいる芭蕉に惹かれているが、身を崩した仲間との吉原通いを断ち切れずにいる。

其角

絵師としての才を芭蕉とともに認めており、気の置けない仲であるが、危なげな暁雲の身を案じている。至極まとも。

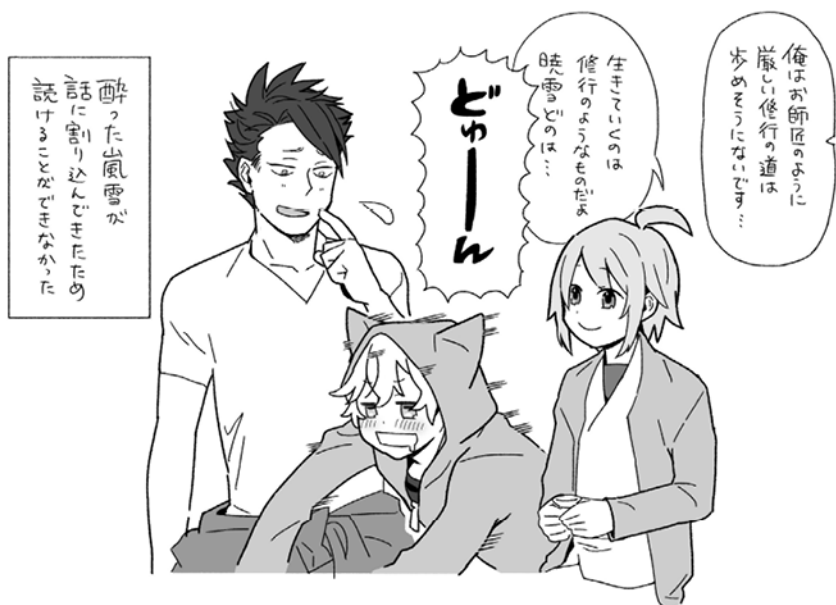
芭蕉

良いタイミングで出て来る。

嵐雪

悪いタイミングで出て来る。

- ◇高村薫原作の映画のように濃厚で、ハードボイルドな雰囲気です。
- ◇高火力すぎて自分の画力では描けそうにないので、テキストで。
- ◇脳内配役は、暁雲役・北村一輝、其角役・塚本高史、芭蕉役・渡辺謙（or 國村隼）希望です。Vシネ感。
- ◇妻が浮気して出て行っても（相手が放蕩仲間でも）、未練もない暁雲。
- ◇暁雲が作って吉原で流行らせた唄を良い声で歌う其角。高村薫原作の映画だったらもうちょい掘り下げられて、其角はぶっちゃー暁雲に口吸われてたと思う。（高村薫原作の映画に期待すぎ）
- ◇この其角は全くもって暁雲を救えないので、パディではないですが、真相を其角にだけは伝えておきたかった暁雲が記述されているのでやはり高村薫原作の映画だったら抱きすくめられて乳とか揉まれる
- ◇「雪信花句」も好きです！西鶴がちょっぴり出てきます。



◇しみじみ会話する二人に割り込む嵐雪。彼いつもこんな扱い。



◇吉原で幕府の風評を流した罪で17年間島流しになった晩雲と、その間にぼっくり逝ってしまった其角。(史実) ひそかに手紙のやり取りは出来たものの…。

いつも読書をしながら思わず本に突っ込みたくなったことや、ふくらんだ妄想をノートの端やチラシの裏に書いていたのですが、本の感想を冊子にまとめるという作業はとても楽しかったです。あらためて自分の歴史創作の素は、読書で受けた刺激を消化したものなんだな～と思い出せました。こんなよく分からない本を最後まで読んで下さったあなたはとてもいい人だ…。

次出すとしたらテーマは「寿貞」が良いなあーと思います。
(寿貞…芭蕉さんが彼女の訃報を受け取ってめっちゃショック受けてるからなんか関係あったんじゃない？って噂されてる人。芭蕉は生涯独身だと思ってた大正時代の俳句ファンたちに衝撃を与えた。)

◇歴史創作マンガ「ばしょうさん！」：@bashosan_ouen

◇雑多なアカウント：@karo_4445（カロは芭蕉さんを応援しています！）

ページが余ったので宣伝します。

ばしょうさん!

ダメ師匠と弟子たちのまんが

芭蕉と弟子たちがわっちゃわっちゃするマンガです。ツイッターでたまに更新中。



登場人物



まこお ばしょう
松尾 芭蕉

- ・俳諧に情熱を傾けすぎて人としてダメになった師匠
- ・俳句界のアイドルです
- ・俳諧に対して狂ったスポ根な所あるよね

すぎやま さんぶろ
杉山 杉風

- ・芭蕉さんのスポンサーというかATM
- ・人の話を聞かないんだこの人は
- ・お金持ちなので俳諧と芭蕉さんを養うのは道楽



◀第一話で登場。江戸でプロの俳諧師を目指す若き日の芭蕉さんの後押しをします。

▷第二話で登場予定。個性強すぎな二人の弟子ですが、大成して芭蕉門下の双壁をなす存在になります。



たからい きかく
宝井 其角

- ・夜の社交場で輝くスター俳人
- ・お酒大好き
- ・子供ぶっているけど意外と鋭いし気を回すタイプ
- ・夢と日記がライフログ



はことり らんせつ
服部 嵐雪

- ・新型うつゆとり系弟子
- ・なんで入門したんでしょうね
- ・妻の影響で猫耳パーカを着せられているだけで猫キヤラではない

ほかにもたくさん



弟子がいます

▷本編にいつ出て来るかわかりませんが、おくのほそ道の旅の同行者として知られる弟子です。

かわい そと
河合 曾良

- ・芭蕉さんを介護する弟子
- ・神社が好き
- ・必要最低限のことしか言わないので誤解されやすいのかもしれない



のちに松尾芭蕉と
呼ばれる詩人が

江戸に来て
五年……

やっと
俳諧のプロとして
認められました

「変質者、は
春の季語
ですか？」

季語ない
575は
川柳です。

芭蕉さんは
江戸で
俳諧の先生を
していました

大変な興味
はかい
会話をすね
入れましょ

それが
宗匠です

実際には
十徳という羽織
を着て

頭は
撫で付け髪に
宗匠頭巾を
かぶっていました

私、
松尾桃青

宗匠と
相成りましたっ！

※桃青は当時の俳号

カンパ——イ！！

生まれ
ようとして
いました

独立して
宗匠になることを
「立机（りつき）する」
といいます

34才のデビューが早いのか早いのか
は分からないが天才詩人である。

おれが
やるぞ。

祝・開業！！



